

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相模原市立津久井中央小学校（神奈川県）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」・資料の蓄積と学びの共有

9/19	
今日の学習で学んだこと	考えたことや疑問
室町時代に足利の乱があったことがわかった。	どうやって全国統一したのか。
応仁の乱で使っていた鉄砲の作っているところを知った	騎馬戦をやったら被害が多くなると思う。
長篠の戦いについて知った。(人、武器など)	水の近くで戦をする理由
井原絵を見て気づいたことや聞いたことをまとめた	
井原絵を見て気づいたことや疑問を書いた	まとめ方がノートより良かった
応仁の乱で使っていた武器を知った	気づいた事と疑問をみんなで発表し合った
応仁の乱で使っていた武器を知った	でこぼこな土地や、水の近くで戦いをするのは、なんでだろう
応仁の乱での戦い方の工夫や武器などを学んだ	旗になぜ文字を書いているのか
応仁の乱について調べて知った	全国統一をする方法
長篠の戦いについて覚悟したことなどをまとめた。	話を聞きながらメモを書く楽しさを知った
長篠の戦いの絵を見て覚悟をまとめた。	戦いについてより詳しく知りたい
	三人の武器がどんな人たちが知ってみたい



前時の振り返りをみんなで共有し、考えたことや疑問を確認してから本時の学習に入る。

教科書の内容を自分なりにまとめてスライドに記録するが、教科書に線を引き、焦点化してからスライドにまとめる児童もいれば、直接スライドに入力する児童もいる。まとめ方も様々。個々のやりやすい方法を選択してまとめる。

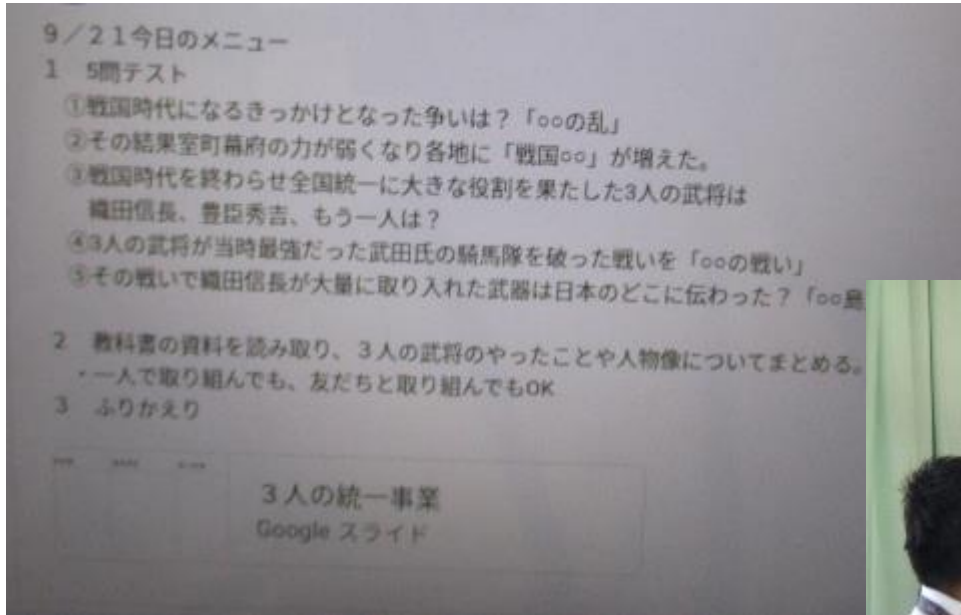


共有する場面では、集まって意見を交わすことも。ICTを活用して共有する良さ、言葉で共有する良さ、双方の良さを知り、使い分ける。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相模原市立津久井中央小学校（神奈川県）

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等」・学校の学びを家庭学習につなげる



気を付けていることは、Classroomの内容を見ていることを前提に進めるのではなく、授業中に内容の確認は必ず行う。



津久井中央小学校では、学校の学びを家庭につなげるためのICTの活用を探っている。

Classroomで小テストの内容を提示したり、課題を提出したりするなど学校の学習を継続して家庭で行うことで、個にあった進度で学習を深めることができる。

また、休んだ児童も授業内容を確認できるので、学習への不安も減っている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相模原市立津久井中央小学校（神奈川県）

【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」

・「学び合い」をベースとした授業改善と学びを深めるために効果的なICTの活用

教員がICTを活用した授業のイメージを共通してもつために、1単元を通して授業公開をして、全教員が参観をしたうえで取組をスタートした。

津久井中央小学校では、ICTを使う授業をするのではなく、ICTを活用することで、子どもたちの資質・能力を身に付ける道具としての使い方をめざして行っている。校内研究「学び合い」の授業の中で、ICTを取り入れることが、どれだけ効果があることなのかも含め、今後検証を行っていく。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

相模原市立津久井中央小学校（神奈川県）

【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」 ・学びを深めるために効果的なICTの活用について共有

6年生の実践(3枚目のスライドを意識した点についてまとめる) 体育科「ピタッ・ブンッ・クルッ！スムーズにわざを決めよう (鉄棒運動)」

最後のゴールの姿として、
Google Sitesで鉄棒動画集を作成した。



(鉄棒運動)

学習中も動画を撮影し、自分の動きを見ていた。そうすることで、自分に足りない部分を知り、その後の練習に活かした。



動画で見るだけでなく、実際に見てもらいながらのアドバイスも受けることで、意欲的に学習に取り組むことができた。

<https://sites.google.com/sagamihara-kng.ed.jp/tsukuiichuo-tetsuboudougai>

5年生の実践(3枚目のスライドを意識した点についてまとめる)

これらすべてをClassroomの「授業」に貼り付け、タブレットのみで授業を行った。

学びのプラン(PDF)

学びのプラン

1. 目的 (知識・技能、思考力・判断力・問題解決力、学びの態度)
2. 学習活動 (主体的に学習に取り組む姿、協働的な学習活動)
3. 評価 (学習活動の様子、学習成果)

学習活動	評価
学習の意欲・主体的な学習活動の様子	学習態度・主体的な学習活動の様子
学習活動の様子	学習成果
学習成果	学習態度・主体的な学習活動の様子

各時間の学習活動や、身に付けてほしい力等を確認し、見直しをもって参加できるようにした。



教師と各個人のやりとりが可能な設定にした。



児童同士のスライドが閲覧ができる設定にした。

振り廻り&比較(スプレッドシート)



振り廻りシートの記述内容によって色づけし、評価した。



学習前と学習後に入力させた。

3年生の実践(3枚目のスライドを意識した点についてまとめる)

・ノートを使わない授業 ・オクリンクの使用

- 共有や動き学習がすぐにできる
- 自分の考えと友だちの考えを比較しやすい
- 指導者がリアルタイムで児童の考えを確認できる
- △-そもそもタイピングスキルが低い
- △-考えをもっているが、考えを十分に表出させられない
- △-書くことに時間がかかって、授業が進まない
- △-PCに接続し上がらない、紙が入らない
- △-ノートのように記録できない分、範囲に全く触れない
- △-ノートのように記録すると時間がかかって進まない

1人学び→交流 をスライドで

- 4枚のスライドを配信
- 自分が取り組みたい枚を選び、1人学び
- 4枚のスライドが完成できるように交流

わかりやすく伝えるために、教科書を読み込み、補足する部分はすべてスライドを作っていた。

振り廻りの見える化



ミニテストで確認

- スライドをうめて終わりでなく、ミニテストで定着をはかる
- 何回でもできるので、覚えられないまで繰り返しやる児童も

○ふりかえりを共有することで、何を書けばよいか分からない子が参考になる

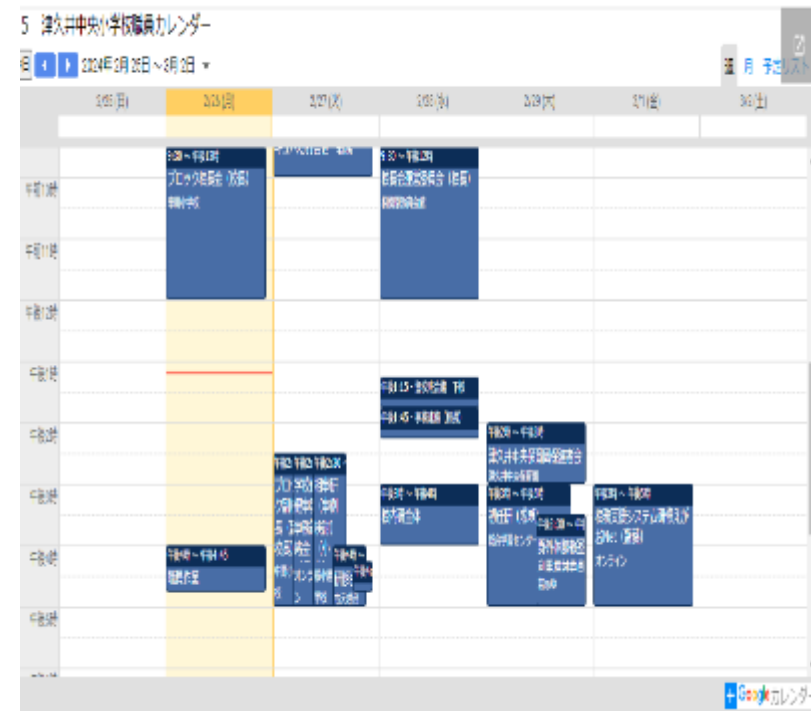
△全員が編集できるため、勝手に消されてしまう
→スプレッドシートの範囲保護機能



津久井中央小学校では「子ども一人ひとりが主語となる授業」を展開していくことで「自立した学習者の育成」を目指している。そのためにインプットとアウトプットの両面で、必然性、必要性、有用性のあるICT活用を探っていく。
2学期末には、各学年の取組についてスライドにまとめ全職員で共有した。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

相模原市立津久井中央小学校（神奈川県）

【取組内容④】 「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」
・校務の効率化を進めるための学校ポータルサイトの運用

「津久井中央小ポータルサイト」を作成し、校務の負担軽減を旨とした。特に、職員のto do リストについては、各職員が落としがちなタスクについて全員が見ることができるようにしたことで、声をかけ合うことができるようになった。また会議等で必要な資料にもすぐにアクセスでき、必要なものを必要なときに閲覧しやすくなった。

カレンダー機能ではスケジュールを表示できるので見通しがもちやすい。